

静岡県立小山高等学校

# 同窓会報 第6号

発行  
静岡県駿東郡小山町竹之下369  
静岡県立小山高等学校同窓会  
TEL 0550(76)1188代

平成30年3月31日現在  
全日制卒業生 7,248人  
定時制卒業生 630人



H30 笙陵祭 体育の部 全校生徒・教職員



H30 高校野球応援



H30 ダンス部 (ダンスドリル選手権全国大会7年連続出場)



H30 吹奏楽部 多くのイベントに参加(足柄サービスエリア)



H30 第40回 御殿場駅前清掃大会



H30 笙陵祭 体育の部 バッコミ



H30 静岡県高等学校 定時制通信制生徒 生活体験発表大会



H29 静岡県東部高等学校定時制生徒 合同文化祭



H30 全国高等学校 定時制通信制 陸上競技大会



H30 静岡県高等学校 定時制通信制 ソフトテニス大会

御挨拶



同窓会長  
鈴木 新一  
(第二期生)

同窓生の皆様におかれましては、益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から同窓会事業に対し御支援、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。平成17年に記念すべき同窓会報第1号を発行して以来約13年、関係各位の御尽力によりこの度第6号を発行できますことに對し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。豊かな自然に囲まれ、壮大な富士山に見守られた足柄の地に、母校静岡県立小山高等学校が創立され今年で34年目に入り、本年3月に卒業しました第31期生を迎え、同窓会員は7878名となりました。少子化による生徒数の減少で学校自体が閉鎖される事も珍しくなく、また、決して有利とは言えない地理的立地条件にも拘わらず毎年新入生を迎えられてきている現状は、熱心な取り組みをしていただけている校長先生をはじめ多くの先生方の御指導や御協力、また保護者や同窓生の皆様の温かい支えが各方面から評価されていることだと確信しております。同窓会長としてあらためて御礼を述べさせていただきます。誠にありがとうございました。

同窓会新幹事御挨拶

三十一期生 渡辺 大洋

今年小山高校を卒業した第三十一期生同窓会幹事長の渡辺大洋です。

思い返してみると高校三年間は本当にあっという間でした。その中でできたたくさんの思い出や仲間は一生物のだと思います。小山高校で過ごした日々を糧に、卒業後も様々なことに挑戦できているので、とても感謝しています。小山高OBとしての誇りを胸にこれからも頑張っていきたいと思います。

在学中に多くの支援をいただいた同窓会の皆様には本当に感謝しています。今年度から一学年百二十人となり、OBとしては寂しい気もしますが、小山高校の更なる発展と新しい小山高生のために私達三十一期生も貢献していきたいと思っております。よろしくお願ひします。

三十一期生 勝又ほの花

この度、第三十一期生同窓会の副幹事を務めさせていただくことになりました。

小山高校で過ごした三年間は、どの瞬間もかけがえのない大切な思い出です。優しく、頼もしい先生方の授業や、たわいもない昼休みの有難さに、卒業してから気付かされました。だから、在学生のみならず、そのようなありふれた日常を記憶に刻み、楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。一人一人、自分の夢、選んだ道に胸を張って歩き出せるように、仲間とたくさん語り、支え合ってください。そして、いつも傍で支えてくれてる人へ感謝の気持ちを行動にして返せるように、自分に何ができるのかを考えてほしいと思います。

私は、そんなみなさんを応援し、小山高校の活躍を、楽しみにしています。

魅力ある高校として



校長  
小川 圭一

同窓会の皆様におかれましては、日頃から御支援、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年度はプロジェクトを新しいものに交換していただきました。生徒・職員とも大変ありがたく使用させていただいております。最先端の教育実践を行っている環境は、本校の大きな魅力の一つです。本校の魅力と言え、この二年、部活動において大きな成果を上げました。ダンス部は、昨年度夏の全国ダンスドリル選手権大会において、出場した二部門とも優勝するという快挙を成し遂げました。今年度も結果は僅差の四位でしたが全国大会で素晴らしい演技を披露してくれました。弓道部は昨年度の県高校総体女子団体で優勝し、県代表として全国大会に出場しました。また、吹奏楽部もA編成(大編成)の部で東部大会金賞、県大会出場を続けています。その他の部活動においても、生徒は、周りの人たちが思わず応援したくなるような素晴らしい姿を見せています。定時制の課程では柔道、陸上、ソフトテニスが全国大会に出場しました。地域のイベントへの出場やボランティア活動、インターンシップなど、地域での生徒の活躍も皆様の耳目に触れる機会があるかと存じます。

大きな時代のうねりの中で学校もまた変わらざるを得ない状況にあります。しかし、地域とともにある本校の存在は、時代の変化によりその価値が一層高まっているとも言えます。本校が未来を生き抜くために、同窓会の皆様には更なる御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

小山高校生徒会は、今年、「日本生徒会大賞二〇一八・地域参画推進賞」を受賞しました。これは昨年の小山町高校生議会で本校生徒会が、地域振興策として、足柄ふれあい公園にパーベキューガーデン開設を提言したことが契機となり、町の政策として今年四月に実現したことや生徒会主催の御殿場駅・足柄駅周辺の清掃奉仕活動などの地域交流を続けてきたことが高く評価された結果です。

部活動でも部本来の活動に加えて、部単位で地域のイベント等のお手伝いをしています。「一部活動一交流」に取り組んでいます。特に吹奏楽部やダンス部はさまざまなイベント等に呼んでいただき、大きな御声援をいただいております。

小山町の全面的な協力をいただき一年生全員が役場で体験する「インターンシップ」(職場体験)も今年で三年目となり、本校に欠かせない行事として定着してきました。また、二年生全員を対象とする地元企業の方々による「キャリア講演会」では、進路決定に大きなヒントを与えていただいております。これらの地域と連携したキャリア教育への取り組みが評価され、本校は今年一月に文部科学大臣賞を受賞しました。

本校の教育活動の多くはこのように地域との関わりの中で行われ、多くの地元の方々や卒業生の皆様に支えられて成り立っています。今後も「いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間の育成」を目指し、地域とともに歩んでいく小山高校への温かい御支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

地域とともに



副校長  
鈴木 康之

# 母校の近況



全日制教頭  
西川 勝啓

昭和六十三年四月開校四年目の小山高校に新任教員として着任し二期生から七期生の同窓生の皆様と過ごしました。昨年度二十五周年振り二回目の勤務となり、青春時代を過ごした山高に再び勤務できることを大変嬉しく思っております。赴任早々の入学式では同窓生の御子様が入学されており、時代の流れを感じました。同窓生の皆様には、日ごろから、本校の教育活動に對しまして格別の御支援、御協力をいただき感謝申し上げます。また、皆様におかれましては、各方面で御活躍のこととお喜び申し上げます。



H30 笙陵祭体育の部

部活動、学校行事、生徒会活動に一生懸命に取り組んでいます。何もなくやっています。生徒・教職員が一つになって教育活動を行うことについて、忘れられない思い出があります。冬を迎え、毎朝一番に登校してクラスのストープを点けて教室を暖かくしてくれている生徒がおりました。誰が点けているのだろうと職員間でも話題になったところ、それが「さつちゃん」だと分かりました。「さつちゃん」は誰もが応援している生徒でした。その後、彼女の大学合格の知らせを聞いた時の職員室は沸きあがり、喜んだことが今でも心に残っております。このような生徒との関係は、今も受け継がれているのではないかと思っています。

在校生の活躍を一つ紹介します。一昨年より小山町が開催する高校生議会に参加しております。写真は生徒会の生徒が議長、議員となり、町政に対して一般質問をしているところです。この議会は、小山町の次代を担う高校生が町政への関心を高め、若い視点から小山町をより良い町にするための意見交換をすることを目的として今年度三回目になります。一般質問の答弁者は、町長、小山町役場の部長級の方々です。昨年度の一般質問では、「災害時のスマートフォン活用の活用について」という高校生らしい提案をしました。足柄ふれあい公園にバーベキューガーデンを作ること提言し、今年四月に実現しました。



H29 小山町高校生議会

小山高校の活躍が同窓生の誇りとなるように在校生・教職員が取り組んで行きたいと思えます。これからも温かく見守っていただき応援をお願いします。同窓生の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

# 母校の近況



定時制教頭  
勝間田 浩文

小山高校定時制は、静岡県立御殿場高等学校小山町立小山分校として昭和二十三年に設立され、その後昭和六十年に小山高校が新設された際に、小山高校の定時制課程として統合併設され現在の地で学んでいます。平成二十六年に創立三十周年を迎えましたが、分校時代を含めると今年がちょうど七十年目にあたる年になります。

現在の定時制高校には「働きながら学ぶ場」というだけでなく、「学び直しの場」や「再チャレンジの場」としての役割が大きくなっています。本校でも設立当初男子は自衛官、女子は富士紡に勤務する者がほとんどでありましたが、ここ数年は正社員で働く生徒は少なく、中学校新卒者でアルバイトをしながら通学する生徒が多くなっています。そういった生徒の中には中学時代不登校や成績不振、家庭の事情等で全日制高校に進学できなかった者も多く在籍しています。しかし、不登校で中学校にはほとんど登校していなかった生徒が毎日登校するようになったり、勉強が苦手な生徒が個別に指導される中で学習意欲を身につけ卒業後上級学校に進学したりするなど入学後大きく変わる生徒もいます。そういった状況の中、普段の生活では「授業を大切に。」をモットーに、落ち着いた学習環境づくりと分かりやすい授業を目指しています。多様な生徒が入学してくるため、生徒一人一人の学力を把握し、個々の生徒の状況に応じた指導を行っていくことで少しずつ成長していき、上級生になるほど授業の雰囲気や取り組み姿勢も良くなっ



ています。同窓会の御支援により各教室には電子黒板対応のプロジェクトが設置されており様々な授業において活用され「分かりやすい」「興味がわく」授業が行われています。昨年度のアンケートでも「授業がわかる」と応えた生徒が90%を超えています。生徒会活動も活発で特に十月の体育大会では生徒会役員が中心となって準備や当日の運営を行い、生徒全員が楽しめる企画を考えました。参加した生徒は楽しく、どの競技も一生懸命に取り組み、ドッチボールでは教員もチームを作って試合に参加するなど学校が一つになれた行事でした。他にもボーリング大会、映画鑑賞会など生徒会が企画運営をしている行事が多数あります。部活動では陸上、柔道、ソフトテニスで全国大会に5名、東海大会に5名が出席するなど活躍しています。陸上部は十四年連続全国大会に出席、柔道部は県の団体戦のメンバーに2名が選ばれベスト8の原動力になるなど本番で力を発揮できました。昨年度は東部の高体連の最優秀校として初めて表彰されました。文化的な活動では、生活体験発表では県大会に2名が出席し、1名が教育振興会長に選ばれました。東部合同文化祭では生徒全員で作ったモザイクアートが展示部門の最優秀賞に選ばれるなど少人数でも力を合わせて頑張っています。全校生徒二十九人という定時制ですが少人数をメリットととらえ、今後も良き伝統を引き継ぐとともに学校経営計画にもあるように面倒見の良い定時制高校として自立できる生徒を育て地域に貢献できるような生徒を育成するよう職員一丸となって取り組んでまいりますので同窓生の温かい御支援をお願いします。

### 平成29年度 小山高校同窓会 学校支援事業の紹介

#### プロジェクター新機種の更新を 12台行いました。

全日制二年 山崎 芽衣

小山高校同窓会の皆様、この度は小山高校へのプロジェクターの更新、ありがとうございました。

私は中学生の時、学校にプロジェクターが無く、小さな教室の隅にあるテレビで資料映像を見たりしましたが、テレビから席が遠いと画面がよく見えませんが、プロジェクターになってからは画像が見えたり、映像が鮮明であったり、何よりも画面が大きく、どの席に座っていても見えることに感動しました。また、皆でそれぞれ手元の資料を見ているよりも、先生が画面を指しながら説明をするので、より理解が深まります。そして、専用のペンを使って色々な色の文字を書いたり線を引いたりすることができるので、英語の授業でどこが今回のポイントになるか、この箇所にはどのような英文法が使われているのかといったことがわかり易くなり、今では私達の授業の中で欠かせないものとなっています。



授業風景

定時制四年 及川レイヤ

小山高校同窓会の皆様、私たちが在校生のために各教室にプロジェクターを設置していただき、ありがとうございます。新しいプロジェクターのおかげで、毎日の授業をとて楽しく受けることができています。

例えば地理の授業では、先生が教科書に載っている図表や地図や写真を、大きく黒板に映しだしてくるので、どの部分が重要なのか、またどこに注目すればいいのか、一目瞭然ととても分かりやすいです。また、電子黒板の機能により、黒板に映しだされた大きな白地図に、数色のペンで地名などを書き込むことができ、授業中非常に印象に残ります。私はこの教科が苦手でしたが、少しずつ興味を持つことができるとなりました。

他の教科でも、私たちが意欲的に授業に取り組めるよう先生方が様々な工夫をしてくださっています。

このように、私たちが授業に対して今まで以上に積極的に参加できるようにしたのは、寄付していただいたプロジェクターのおかげです。プロジェクターを使用できるありがたみを忘れずに、クラスの皆と一緒に残りの学校生活を送りたいと思います。

### 平成29年度 主な進路状況

#### <国公立大学>

千葉大学、滋賀大学、室蘭工業大学、静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、都留文科大学、山形県立米沢栄養大学

#### <私立大学>

東京理科大学、立教大学、明治大学、中央大学、日本大学(工学部、国際関係学部、生物資源学部、薬学部)、東洋大学、専修大学、国際医療福祉大学(小田原保健医療学部、薬学部)、東京電機大学、東京都立大学、東京農業大学、明治学院大学、神奈川大学、玉川大学、東海大学、常葉大学

#### <文部科学省所轄外の大学校>

防衛大学校

#### <国公立短大>

静岡県立大学短期大学部(こども学科、歯科衛生学科)

#### <私立短大>

【保育】小田原短期大学、鎌倉女子短期大学、湘北短期大学  
【その他】上智大短期大学部、日本短期大学部、大妻女子大短期大学部

#### <看護医療系専門学校>

静岡医療センター附属静岡看護学校、静岡県立東部看護専門学校、静岡済生会看護専門学校、JA静岡厚生連するが看護専門学校、おだわら看護専門学校、横浜医療センター附属横浜看護学校、富士リハビリテーション専門学校、白寿医療学院

#### <専門学校等>

沼津情報ビジネス専門学校、大原公務員医療観光専門学校沼津校、静岡県東部総合美容専門学校、中央歯科衛生士調理製菓専門学校

#### <就職>

株式会社エムエーパッケージング、株式会社バルツリー、株式会社未来企画、株式会社トムス、富士スピードウェイ株式会社、矢崎部品株式会社裾野製作所

#### <公務員>

御殿場・小山広域行政組合(消防官)、静岡県警察、陸上自衛隊

#### 平成29年度 小山高校同窓会会計決算書

収入総額 8,224,467 円  
支出総額 7,673,584 円  
差引残額 550,883 円 (次年度へ繰越)

#### 収入の部

科目	当科予算額	繰上予算額	予算残額(A)	決算額(B)	比較増減額(B-A)	備考
繰越金	855,116	0	855,116	855,116	0	平成28年度より繰越金
入会金	189,000	0	189,000	189,000	0	61,000×169名(全日制161名、定時制8名)
会費	1,626,000	0	1,626,000	1,626,000	0	会費月額10,000×161名、定時制8,000×8名
雑収入	6,060,000	0	6,060,000	5,220,000	△840,000	会費1,980名、積立金1980名、専修会に引き継ぎ561名
雑収入	260,000	0	260,000	373,610	113,610	調理科会費(学生会2名)
雑収入	1,884	0	1,884	741	△1,143	積立金利息
合 計	8,912,000	0	8,912,000	8,224,467	△687,533	

#### 支出の部

科目	当科予算額	繰上予算額	決算増減額(A)	決算額(B)	比較増減額(A-B)	備考
雑費	889,000	0	△200,000	889,000	489,141	219,855
会費	300,000	0	△200,000	100,000	-	100,000
会費	30,000	0	0	30,000	0	17,500 会費用印費
福利費	400,000	0	0	400,000	364,146	卒業証書デザイン、同窓会会長費
図書費	180,000	0	0	180,000	102,297	66,703 電子書籍利用、e-ラーニング教材
学校支援事業	6,000,000	0	0	6,000,000	5,182,426	817,580
学校支援事業	6,000,000	0	0	6,000,000	6,182,426	817,580
福利費	200,000	0	200,000	402,299	342,299	114,701
福利費	200,000	0	200,000	402,299	342,299	114,701
福利費	20,000	0	0	20,000	16,280	16,280
福利費	20,000	0	0	20,000	3,720	16,280
福利費	50,000	0	0	50,000	0	50,000
福利費	50,000	0	0	50,000	0	50,000
福利費	10,000	0	0	10,000	0	10,000
福利費	10,000	0	0	10,000	0	10,000
積立金	1,200,000	0	0	1,200,000	1,200,000	0
積立金	1,200,000	0	0	1,200,000	1,200,000	0
積立金	488,000	0	0	488,000	488,000	0
積立金	488,000	0	0	488,000	488,000	0
積立金	18,000	0	0	18,000	0	10,000
積立金	18,000	0	0	18,000	0	10,000
合 計	8,912,000	0	0	8,912,000	7,673,584	1,238,416

積立金	平成28年度末	繰入金	積立金	平成29年度末
積立金	14,210,062	400,000	400,000	14,210,062

同窓会記念事業環境整備基金	平成28年度末	繰入金	積立金	平成29年度末
積立金	37,897,748	4,800,000	805,000	33,902,748

上記のとおり報告します  
平成30年3月31日

平成29年度 小山高校同窓会会計  
会 長 鈴木 新一

(監査報告)

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成30年4月16日

平成29年度 小山高校同窓会会計

会計監査

田代 治久 岩田 慈史